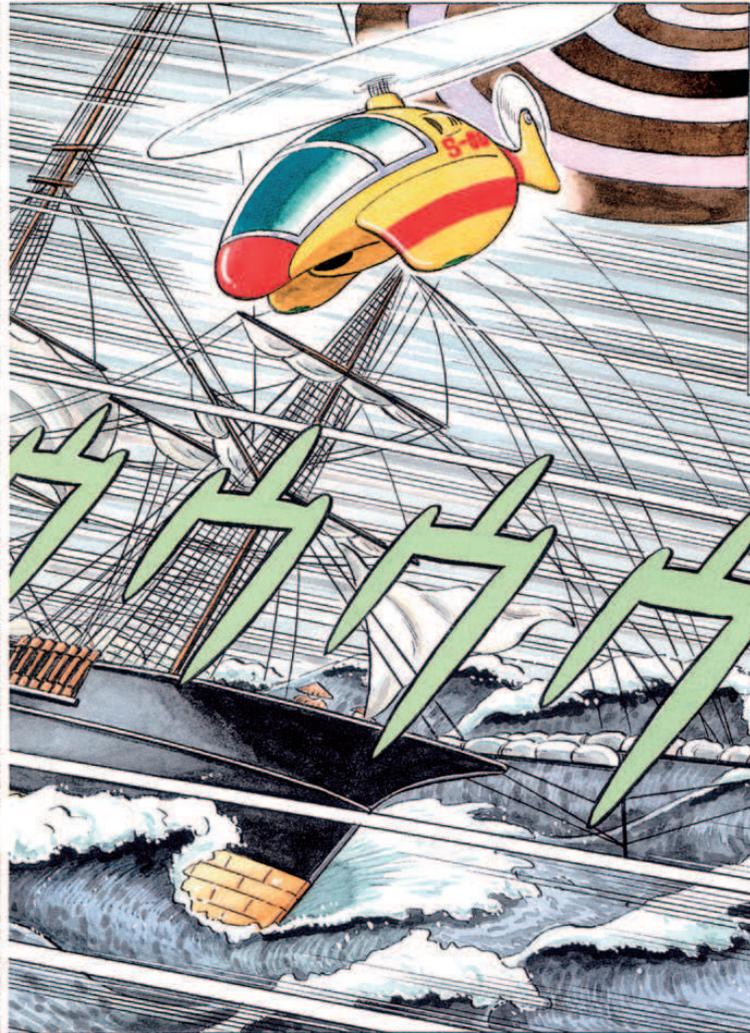




うわっ  
大変だっ  
船が沈没  
しそっ  
だよ!!

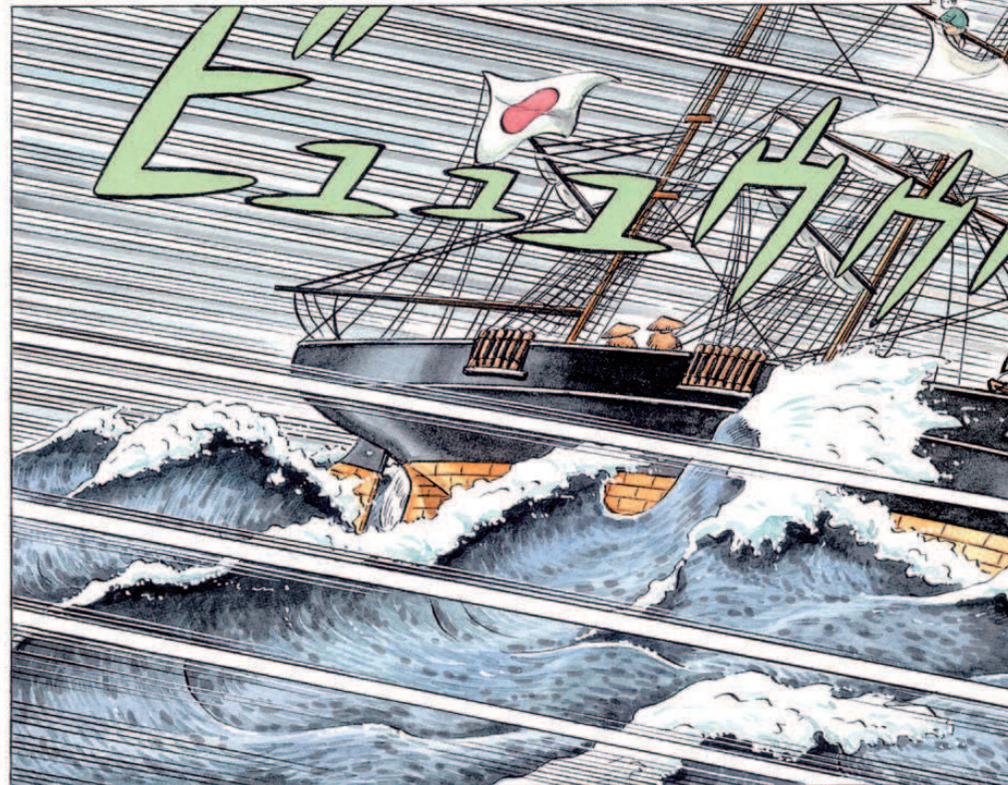


この船は  
咸臨丸と  
いってね

片倉小十郎の  
家臣の人たちが  
乗ってるんだよ

片倉小十郎の  
家臣？

そうだよ  
札幌の白石を  
開拓した先祖の  
人たちだよ



※開墾…山野や荒れ野を切り開き、畑を耕すこと。



今の官城県にあった  
仙台藩は、明治維新のときの  
戊辰戦争で  
敗れて

ほとんどの  
土地を取り上げ  
られてしまったんだ



そこで仙台藩の白石城主  
片倉小十郎の家臣の人々は  
北海道へ渡って、土族として  
北方を守りながら  
開墾をする人になろう  
と決意した  
んだ

明治四年  
およそ六百人が  
二班に分かれて出発。  
咸臨丸には第一班の  
人たちが乗っているんだ



博士  
あの人たち  
助けられ  
ない!!

咸臨丸は、  
九月二十日に  
木古内沖まで来て  
岩に乗り上げて  
しまったんだ



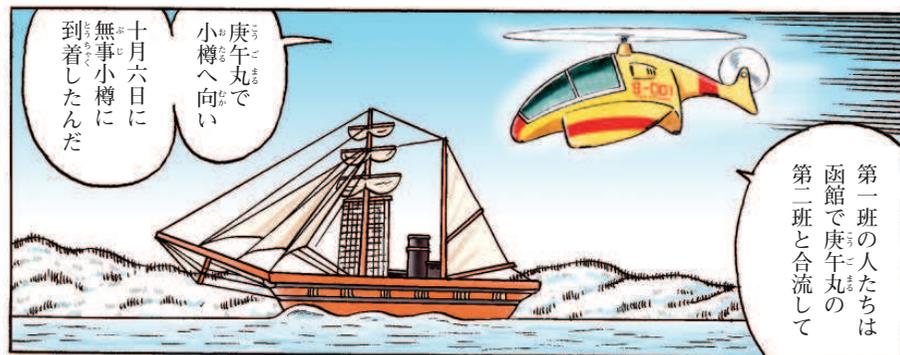
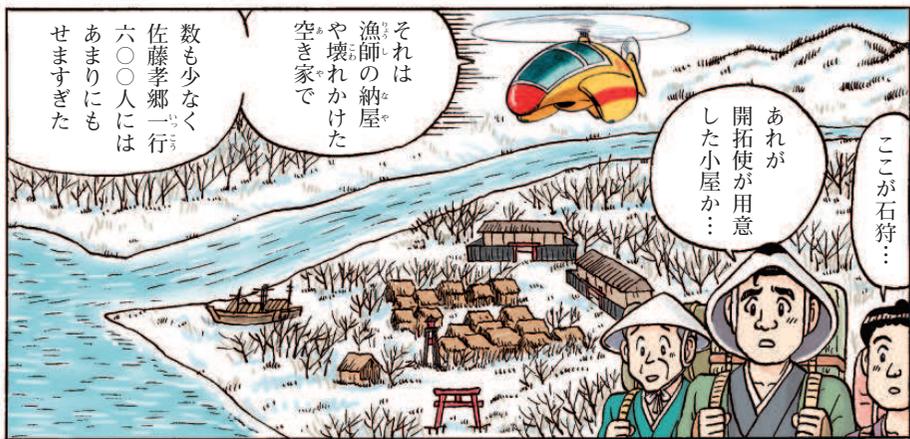
大丈夫  
岩に乗り上げたのは  
岸に近い所  
だから、  
みんななんとか  
助かるんだ

良かった!

ホッ

※咸臨丸…安政元（1854）年、江戸幕府がオランダに造らせた軍艦2隻のうちの1隻。万延元（1860）年、勝海舟らに乗せてアメリカのサンフランシスコへ向け太平洋を渡った船として有名。

※明治維新…江戸時代末から明治の新政府ができるまで、日本の近代国家が誕生する変革の時期。  
※戊辰戦争…明治元（1868）年から翌年まで行なわれた新政府側と反新政府諸藩・旧幕府側との戦い。



※はしけ...船と海岸のあいだを人や荷物を積んで運ぶ小船。





雪が積もる前に  
\*小屋掛けをするんだ



いよいよよ  
白石開拓の  
始まり  
だね!!



手のママがつぶれて血が出ているのに  
仕事している

昔は機械がないから大変ね



凍っていてクワがきかない  
うむむ:



でも柱を立てる穴を掘るにも凍り始めた土にクワをはね返されたり北海道の寒さに、みんな苦労したんだよ



みんな朝早くから夜遅くまで一所懸命に働いている



さあ小屋掛けが始まったよ



ここに住むことを決意した人たちだから自分たちの家を造る喜びでいっぱいなんだよ

昔の人はすごいね!!



ここが開拓使が決めた最月寒の地か:



佐藤孝郷が丘の上から入植地をながめているところだよ



さあ明治四年の札幌に着いたぞ  
小樽と同じで札幌も木ばっかりだ:



現代じゃ考えられない  
\*白石にやってきたんだ

明治四年十一月十六日  
佐藤孝郷ら先発隊六十七人が



林がどこまでも続いているところを見ると土地も良いのでしよう

清らかな水の最月寒川が流れております



住むには最適の地かと思われ  
そうだなここをわれわれの第二のふるさとにしよう!!

今なら鉄道や飛行機で簡単に來れるのにね

昔の人は苦労していたんだね

※小屋掛け…当時は、凍った土を掘って木の柱を立て、壁や屋根をカヤ（ススキなどのイネ科の植物）で覆っただけの、すきまだらけの粗末な家であった。

※最月寒川…アイヌ語で「モ・チ・キサ・ブ」といい、「モ」は小さい、「チ・キサ・ブ」は木をこすって灰をつけるという意味。はじめは最月寒川とっていたが、今では望月寒川となった。